

もえぎ開設21年目の新たな船出

施設長 下山 丈人

昨年『もえぎ』開設20周年の年であり、『地域で暮らし続けることをめざして』皆様とよりいそいそながら歩む未来〜というテーマで、いろいろなイベントを行いました。今年21年目の介護老人保健施設として、今まで通り、在宅復帰、在宅生活支援、リハビリテーションに力を入れて、介護老人保健施設の理念と役割を守りながら、地域の皆様のお役に立てる施設にしていきたいと考えます。型にはまったサービスではなく、

利用者様個人のご要望に沿った、臨機応変のサービスが提供できるように努力していきます。『もえぎ』は敷居の高い施設ではなく、地域の皆様が気軽に遊びに来ていただけるような施設にしていきたいと考えています。そのためにも、何かお気づきの点がありましたら遠慮なくお申し付けください。今後ともよろしくお願いたします。

皆様とよりいそいそ
ながらの歩み

看護介護師長 近藤 澄子

私たちが看護・介護職員は、利用者様の在宅復帰及び在宅生活支援をさせていただくにあたり、『その人がその人らしい生活を続けていく』ということを大切に考えています。そのために行き届かぬことを増やすためのリハビリテーションはもちろんです。ご本人だけではなく、介護されるご家族のご意見を踏まえた環境作りなど、お一人お一人にあった支援計画を立て実施していくよう心がけています。また、その人にとつての楽しみと、そこからの気力の向上やリハビリテーションの一環等たくさん効果を期待し、レクリエーション活動にも力を入れていこうと思っております。そしてその中からあふれ出る利用者様の笑顔は私たちの力にもなっています。

昨年は地域の皆様に向けての介護教室を実施しました。今後ご利用されている方だけでなく、地域に開かれた「もえぎ」となるような企画も考えていく予定です。ご要望があれば是非お教えください。これからも職員一同皆様とよりいそいそながら歩んでゆきたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

熱心に
意見交換する
カンファレンスの
様子



地元小学生の
演奏で
地域交流



キレイに
咲き誇る
バラ公園を
散策



通所リハビリテーション

絵手紙作りにもチャレンジ

通所リハビリテーションは、現在40名の方がリハビリを目的として利用されています。日課はリハビリを中心とした内容ですが、リハビリスタッフのみならず、自宅での生活が少しでも充実する様に、介護スタッフも利用者様一人ひとりに合わせた援助をさせて頂いています。また、その他にも少しでも身体を動かして頂ける様にと、様々な体操やレクリエーション活動にも力を入れています。

数ある体操やレクリエーションの中から今回は「絵手紙」をご紹介します。

「絵手紙」は、水曜日の活動の一つとして、講師の方2名をお招きし、約1時間の中でそれぞれが描いた作品を完成させていきます。現在は参加利用者様6名で行っていますが、完成している皆さんは、初めての方ばかりですが、完成した作品はどれも素晴らしい味のある作品となりました。



また、日ごろから力を入れている体操では、スタッフ一人ひとり持ち前の明るさで午前30分、午後30分行っていますが、スタッフに釣られるように、利用者様の表情も次第に笑顔になり賑やかに行われています。

なお、しばらく前には利用者様が主に使用されているトイレの「手拭きペーパーホルダー」を新しい物に取り換えてみました。「使いやすくなった」との声が多数あり良かったと思っています。

「もえぎに来てよかったー」「家での暮らしに自信が持てたー」などのお言葉をいただくこともあり、そんな時は私たちもとても嬉しく思います。

今後スタッフ一人ひとり全力でお手伝いしますのでよろしく願います！



☆ 新人紹介 ☆

この度、6名の職員が赴任しました。皆さん、よろしく願います。



事務課長
あざがみ まさと
畔上 正人



リハビリ理学療法士
こばやし かい
小林 甲斐



介護職員
さかい たまえ
酒井 玉江



かえで棟 介護福祉士
くりやま はるひ
栗山 暖日



かえで棟 介護福祉士
ひざわ れんじゅ
飛沢 蓮樹



つくし棟 介護福祉士
まえざわ ゆうや
前澤 優弥

編集後記

これからジメジメとした梅雨の季節になります。雨の日を喜んでいるのは、カエルと子供たちだけ…。大人は空の様子をうかがいながら洗濯に布団干しと大忙し。たまには、おしゃれな傘とレインブーツに身を包み、お散歩にでかけてみませんか？何か新しい発見があるかもしれませんよ。

生涯現役！ 「元気な高齢者」募集中！！

食事介助などを行っていただく「介護助手さん(50~70歳くらい)」を募集しています。

